



# にゅーすれたーふじやま・長泉



2017.10

## 赤い羽根共同募金

パナソニックエイジフリーショッブ

「赤い羽根共同募金」の季節になりました。私も10月1日（日）イオンタウン富士南店中央出入口で11：00から約1時間街頭募金のために立たせていただきました。今年は、日曜日ということもありボーイスカウトの少年たちと共に楽しく募金活動ができました。

共同募金は、都道府県ごとに行われています。災害の時などの例外を除き、集まった募金はその県内で使いみちが決められます。つまり、寄付した皆さんの地域で役立てられている募金です。共同募金は、社会課題を解決するための活動や、様々な地域課題を解決するための活動を行う団体に対して助成されます。

共同募金会（社会福祉法人中央共同募金会（Central Community Chest of Japan））では、共同募金に寄せられた募金を、毎年、全国のおよそ5万3千件の地域福祉活動や草の根のボランティア活動支援活動に助成しています。助成総額は、毎年160億円以上に上ります。

富士市の赤い羽根共同募金の現状を調べてみました。

富士市は富士市共同募金委員会（富士市社会福祉協議会）が実施しております。赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を

応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」です。集められた募金は、私たちの住んでいる富士市の福祉活動に加え、災害時の被災地支援にも大切に使われています。



**ふれあい・いきいきサロンへの支援**市内には、平成29年7月現在、164のふれあい・いきいきサロンが活動をしています。お年寄りや障がい者の方々を中心に、サロンボランティアとともに気軽に楽しい時間を過ごすところで、地域にとけ込んだ“ふれあいと交流の場”として多くの方が参加しています。

**児童福祉活動への支援**富士市社会福祉協議会では、子ども達の成長を願い、様々な児童福祉活動への支援を行っております。低所得世帯を対象とした小中学校入学支度費や修学旅行支度費の支援をはじめ、様々な子育て関連団体への活動支援に赤い羽根共同募金が役立てられています。

**災害時の被災地支援**大規模な災害が起こった場合に備えて、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を積み立てています。東日本大震災では、東北地方の被災地を中心に約100箇所の災害ボランティアセンターへ国内全体で総額7億円を助成し、活動支援のために役立てられました。

富士市では町内で集める戸別募金が大部分を占めますが、私も参加して行う街頭募金をはじめ、企業や団体、ボランティアなどにもお願いしています。学校の生徒会等での募金活動も大歓迎だそうです。

アイスクリームといえば和風の**アイスまんじゅう**が私のお気に入り、今夏もよく食べました。いつもはコンビニで買いますが、昨日、久しぶりにスーパーで目にしたアイス売り場の一角になんと、**プレミアムアイスまんじゅう**という商品が、緑と赤の素敵なパッケージで販売されていました。プレミアムだけあって1個180円、やっぱり少しお高め、でもバニラを5個買いました。家まで5分程度ですが、念のためドライアイスをもらい慌てて帰りました。**夏の思い出!**



夕食のデザートにいただきましたが、アイスクリームがクリーム色で、味も香りもとても濃厚で柔らかく、懐かしいミルク味の味がしました。九州は久留米の丸永製菓が創業55周年を記念して出した商品です。持ち運びがちょっと不安ですが、是非、一度お試しください。お勧めします。

**朝霧にある岡村牧場**のことを、偶然、夏に旅行したJALの飛行機内知り、9月2日に行ってきました。月の第1土日はイベントがあります。当日も試食会があり、直売もしていたのでステーキやすき焼きのお肉など買い、岡村社長と一緒に写真を撮らせていただきました。



渡邊啓視